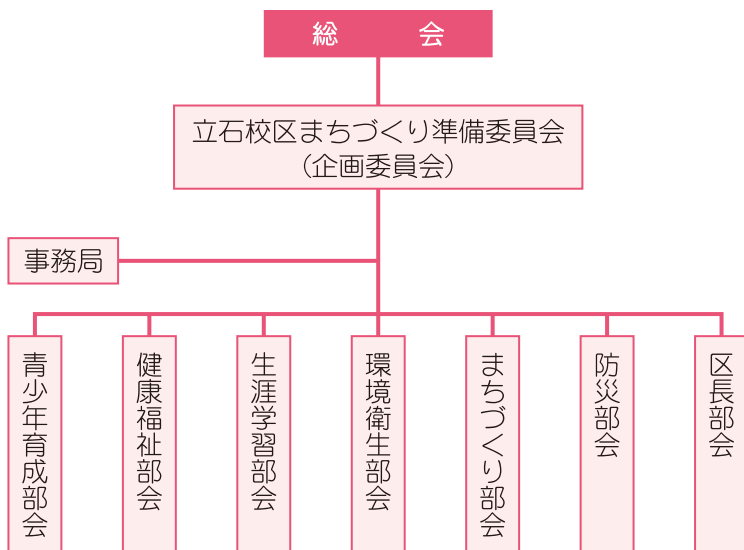




市は、平成24年度から「協働のまちづくり推進事業」として、地域の皆さんと協力しながら、各小学校区における協働のまちづくり事業の取組みを推進しています。

各校区で、「校区協働のまちづくり組織」が設立され、地域住民の皆さんが主体的となった具体的な取組みが進んでいます。今回は、「立石校区」の取組みを紹介します。

## 協働のまちづくり準備委員会の取組み



立石校区では、平成24年12月に協働のまちづくり準備委員会を発足し、部会の構成や活動について検討を重ねてきました。平成25年5月に準備委員会総会が開催され、平成26年度に立ち上げる各部会の活動内容や委員構成などについて具体的な意見交換が行われました。

そして、平成26年2月18日にくろつち会館で年度末総会が開催され、平成25年度の立石校区協働のまちづくり準備委員会の活動報告と収支報告が行われ、参加者全員で確認されました。

## 立石校区の取組み

立石校区は、上の組織図を見てわかるように、新たな地域組織＝立石校区協働のまちづくり準備委員会が、発足した当初から複数の部会を組織化してきたことが大きな特徴です。部会構成は、①青少年育成部会 ②健康福祉部会 ③生涯学習部会 ④環境衛生部会 ⑤まちづくり部会 ⑥防災部会⑦区長部会の7部会制となっています。

防災部会では、「地域における防災対策の現状と課題」について研修会を行い、各行政区で自主防災組織の設置に取り組みやすいように手引きを作り支援しています。

また、夏祭りや左義長は、区長を中心に取り組まれていましたが、自治公民館長等を中心とした生涯学習部会の活動として行うことで役割分担が図られようとしています。

このように、住民が主役の「立石校区の実情にあったまちづくり」に取り組まれています。

